

生育と管理

令和8年2月号

宇佐市農政課 / 大分県北部振興局集落営農・水田畑地化第一班



HPからも見れます！
(毎月1日更新)

●麦の栽培管理：雑草防除と排水対策の徹底

◆ 雜草は小さいうちに早めの防除の徹底を

- ・雑草は種類によって適用除草剤が異なります。
- ・圃場に発生している雑草を把握し、適切な防除を行いましょう（下図参照）。

		ハーモニー75DF 水和剤	MCPソーダ塩	バサグラン液剤	アクチノールB 乳剤
イネ科	スズメノテッポウ カズノコグサ	雑草生育ステージ	5葉期まで 1~2葉期まで	- -	- -
広葉雑草	ヤエムグラ カラスノエンドウ タデ		4節期まで -	1~4節期まで 1~4葉期まで	3~6節期まで 3~6葉期まで
使用時期		小麦 播種後～穂ばらみ期 (収穫45日前まで) 大麦 播種後～節間伸長前	幼穂形成期 (収穫45日前まで)	小麦 収穫45日前まで 大麦・裸麦 収穫90日前まで	穂ばらみ期まで
使用量/10a(水100L)		10g	300g	200ml	200ml
使用回数		1回	1回	1回	2回

スズメノテッポウ



ヤエムグラ



カラスノエンドウ



タデ



※写真の出展: 水田農業グループ

●昨年はタデ類が多く見られました。タデ類は他の雑草と比べて発生が遅く、播種後の土壤処理剤の効果が切れた頃に出芽します。そのため生育期の除草剤を散布することが重要です。

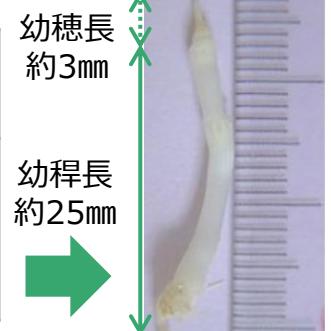
●カラスノエンドウは混入すると選別できません。3月上旬のMCPソーダ塩+バサグラン液剤の散布が有効です（麦栽培暦参照）

◆ 茎立期の穂肥で収量アップ！

- ・穂肥には幼穂の健全な生育を促し子実重を増やす効果があります。
- ・圃場で幼穂の長さを確認し施用時期を逃さないようにしましょう。

麦の種類	化成 16-0-16	窒素量	施用時期
大麦、裸麦、小麦（チクゴイズミ）	15kg	2kg	茎立期 (2月下旬頃) ※幼稈長 20mm頃
小麦【パン用】 (はるみずき)	30kg	5kg	

茎立期



◆ 排水対策の徹底

麦は湿害に弱く、排水不良田では根痛みや生育ムラ等が生じ、収量や品質に影響します。この時期はまとまった雨が続くことがあります。雨上がりには必ず鍬をもって圃場を巡回し、排水口の不良個所（泥詰まりや畔の崩れなど）がないか確認し、見つけたらすぐに改修してください。

排水チェックリスト

- 暗渠・明渠は詰まっていないか
- 水が溜まりやすい場所はないか
- 周囲の排水路は機能しているか



雨上がりは鍬をもって圃場巡回を！



栽培管理日誌の記入を忘れずに

麦作暦の様式を参考に、毎日の作業記録はしっかりと記入してください。

● 宇佐市水田で取り組まれている園芸作物えだまめについて

水田の有効活用は経営安定化やリスク分散に繋がります。

水田で栽培できる園芸作物の中から宇佐市のえだまめについて紹介します。

■ えだまめ生産の特徴

- ・大豆生産に使用している農機を活用できる
- ・品種により播種期が4~7月と幅広い
- ・栽培期間が3か月程度と比較的短い
- ・収穫～選別～袋詰めはJAに委託



令和6年度えだまめ圃場

取り組みの際は、JAおおいた北部営農経済センターまたは大分県北部振興局生産流通部へご相談ください。

⚠ 農薬飛散防止に努めましょう ⚠

農薬には適用作物、適用病害虫・雑草、使用時期、使用回数等が細かく登録されています。そのため、隣接圃場が違う作物の場合、飛散しないよう以下のポイントを参考に細心の注意をして作業してください。

● 飛散防止のための散布のポイント

- **風向き**に注意し、風の穏やかな時間帯に農薬を使用しましょう
- 敷布の**距離や方向**に注意しましょう
 - 作物からのノズル位置・圃場周辺では外側から内向きに散布
- **散布量は適正に**、必要以上に散布しないようにしましょう
- 隣接圃場側へ農薬を散布しない緩衝地帯を設けましょう

